あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

Vol.12
2012年
春号

昨年11月に城西橋上流で見つかったアユの卵 （直径 約1mm）

写真提供：あくあぴあ芥川　花﨑　勝司

連続講座 “アユちゃんお帰りな祭（全5回）” を終えて

昨年3月に芥川大橋上流の堰に魚みちが完成したことを受け、私たちは淀川からの天然遡上アユを想定し、アユを知る・学ぶ・実践するを目的に全5回の連続講座を実施しました。

5月中旬に姿を見せたアユが新しい魚みちを遡上、さらに上流へと遡り、結局約5km上流のあくあぴあ芥川付近まで上っていました。遡上前にかなりの降雨があったことも幸運でしたが、やはり芥川倶楽部発足当時から行ってきた土のう積みの試行錯誤や、大阪府管理区間の魚みちづくりや改良などの努力があり、その間、行政との協働が継続して行われてきた結果が実ったのだと思います。

10月には産卵場の整備を行い、整備したその場所で11月に産卵を確認できました。たくさんの卵に大感激でした。しかし、アユの餌となるコケが付きそうな石が少ないことや、細かい土砂で勾配の緩い下流部の早瀬が埋まりやすいことなど、状況は変わっていません。河床の整備や魚みちの土砂除去作業など、適度な監視と管理も欠かせません。

また、アユの遡上量が予想以上だったのはうれしかったのですが、それにつられて釣り人もたくさん芥川へ。中には、網を使って一網打尽で捕っていく人も出てきて、“想定外”の連続でした。遡上アユは多くの関係者の努力で実現した自然の恵みだといえます。みんなで恵みを分かち合えるよう資源管理など、次代につなげていけるような合意形成の必要性を感じました。

写真提供：あくあぴあ芥川　花﨑　勝司

あくあぴあで孵化したアユの仔魚（全長 約7mm）

平成24年(2012年)3月 発行　芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部～
事務局：NPO法人芥川倶楽部　〒569-0805　高槻市上田辺町１－１８　TEL　072（685）3503
ホームページ　http://akutagawaclub.web.fc2.com/

～～～「芥川」は大阪ミュージアムの登録物に認定されています　～～～

メンバー紹介！

「芥川周辺のホタルと花のまちづくり」

新川姫蛍と花を守る会　代表　高市　友子

高槻市役所より南西へ徒歩15分、芥川に架かる城西橋より芥川大橋間に並行して流れる準用河川「新川」の土手沿いが私達の活動場所です。

平成18年、絶滅寸前だった庄所地域のヒメボタルを守りたい思いから会が発足して以来、花とヒメボタル保護を毎週火曜9時よりメンバー25名で活動しています。幼虫調査や勉強会、観賞会をして、当時30頭しか確認できなかったのですが昨年5月には1，600頭にも増え新たな場所での生息も確認しました。

四季折々の花を育て新川桜堤を初め、国土交通省認定による「淀川サポート制度」の協定を交わし芥川周辺の美化活動をしています。

芥川倶楽部には芥川を綺麗にしたいとの同じ思いから、平成22年のクリーンアップ大作戦に参加して以来昨年度より参画団体になりました。

芥川の自然を守りゴミの無い綺麗な川、ホタルや魚が住める川、周辺の環境を大切に守りたい思いで環境省の「子どもホタレンジャー」にも参加登録しました。芥川下流より摂津峡に続く芥川沿いに遊歩道が整備され、花の咲く遊歩道を目指し共に活動していけることを期待してます。

天然のアユが遡上する川づくり

芥川に天然のアユを遡上させたい！

そんな思いを胸に芥川倶楽部では本年度も様々な活動を実施してきました。昨年は、芥川大橋上流の堰に念願の魚みちが完成し、市の中心部でもたくさんのアユを確認することができました。

そこで今年もたくさんのアユに芥川を遡上してもらえるよう、下記のイベントを実施します。

ふるってご参加ください！！

アユもっと帰って来い
芥川・みんなで改良！　魚みち

平成２４年３月１７日(土)１０時～
※雨天時は翌日　3月18日（日）　10時～

昨年完成した芥川大橋上流の堰の魚みち。昨年はたくさんのアユたちがこの道をとおって遡上していきました。今回は国交省協力のもと、この魚みちをもっとたくさんのアユたちが通れるように皆で水の流れ方を改良します。

良い魚みちについてのお話もありますのでお気軽にご参加下さい。

（申込先）　高槻市政策企画室　　072－674－7393

芥川・クリーンアップ大作戦

平成２４年３月２４日(土)１０時～(小雨決行)

芥川、年に一度の大掃除！
アユが帰ってくる前に、みんなで川をきれいにしよう！

注意事項
- ●持ち物　ゴミ袋（レジ袋など）
- ●服装　歩きやすい服装でお越しください
- ●その他　雨天など天候により中止する場合があります

集合場所
- ① あくあぴあ芥川 ゴロッパ広場
- ② 芥川　桜堤公園
- ③ ＪＲ鉄橋下流河川敷
- ●上記三箇所のうち、ご都合のいい所へお越し下さい
- ●お車でのご来場はご遠慮下さい

平成24年度事業お知らせ

芥川倶楽部では平成24年度、次のような事業を実施予定です。

5月　あくあぴあリバーサイドコンサート（3・4日）
（高槻ジャズストリートとコラボ）
6月　ホタル観察会
あくあぴあふれあいフェスタ（16日）
7月　定例総会（7日）
お父さんのための魚とり講座（夏休み中）
10月　魚釣りイベント
3月　クリーンアップ大作戦

このほかに、芥川にもっとアユを遡上させたい、アユのことをもっと知りたい、そんな想いでアユ関連のイベントを年間6回程度（5月、6月、8月、9月、11月、3月）開催します。また、芥川に繁茂する特定外来生物ミズヒマワリの定期的なパトロール（年3回程度）も実施します。
みなさんふるってご参加ください。
詳しい日程等につきましてはブログでご確認ください。

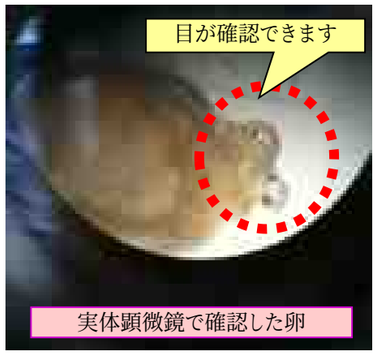
芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに一緒に参加してくれる方を募集しています。
イベント等の情報は下記の芥川倶楽部ブログにて、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。
ブログ :http://akutariv.blog85.fc2.com/　　HP :http://akutagawaclub.web.fc2.com/
e-mail : akutagawa0726@yahoo.co.jp

～～～「芥川」はみんなの川です　「芥川」をきれいにしましょう　ゴミを捨てないようにしましょう　～～～

（前ページよりつづく）
今年度、皆さんにアユのことをもっと知ってもらうために、また芥川がアユにとってより棲みやすい場所となるように全5回の連続講座「アユちゃんお帰りな祭」を開催してきました。
前号の水辺だよりでは、第3回までを報告しました。今号では第4回、第5回について報告します。

第4回　アユの卵を見つけよう！　　１１月５日（土）

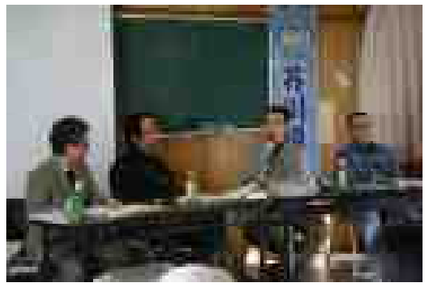
芥川生まれの若アユが戻ってくるように10月1日に産卵場の整備を行いました。第4回では、その産卵場にアユが産卵したかどうかを調査しました。小雨の降る中、大学生や親子連れに加え、国土交通省など総勢38人の参加者がありました。
あくあぴあ芥川の花﨑勝司さんの作業説明の後、代表者が川に入って石を採取しました。その石を参加者でルーペなどで卵が付いていないか調査したところ、次々とアユの卵が発見されました！発見した卵を実体顕微鏡で観察すると、卵の中に動く目を確認することができました。



調査終了後、水道記念館の横山達也さんから、調査の成果やアユの雌雄の見分け方について説明がありました。高槻の町なかを流れる芥川ですが、産卵場を整備した場所でアユの産卵を確認できたことは、芥川倶楽部の活動の大きな成果となりました。

第５回　講演会「アユ、もっと帰って来い！」　　２月１８日（土）

今年度の「アユちゃんお帰りな祭！」のまとめとして、今後のアユ遡上継続･増加をめざして講演会を行いました。
当日は、約50人の参加があり、会場は大盛況でした。
まずは、今回の「アユちゃんお帰りな祭！」第1回から第4回までの取組をパワーポイントで報告。講演は、あくあぴあ芥川の花﨑勝司さんが芥川のアユ、京都市の中筋祐司さんが淀川から鴨川に上るアユをテーマに分かりやすく話されました。淀川河川事務所と大阪府茨木土木事務所の報告もあり、講師を交えたパネルディスカッションでは、会場のみなさんと意見交換も行いました。
3時間といった限られた時間の中では、まだまだ語りつくせない部分もありますが、今年度取り組んできた「アユちゃんお帰りな祭！」を振り返り、改めて、多くのアユの遡上や、アユの産卵を確認できたことに喜びを感じました。また、遡上個体数の計数方法やアユの捕獲に関するルールづくりなど、今後の取り組みにつながる課題も見つけることができました。



芥川倶楽部では、平成24年も「**芥川アユ**」について、また新しい“発見”を求めていきたいと考えています。

外来植物観察会～ミズヒマワリは根絶できたか～

黄色いヒモのように見えるのは、寄生植物のアメリカネナシカズラです

１２月４日に津之江公園において外来植物観察会を実施しました。
あくあぴあ芥川の高田みちよさんの話を聞きながら、津之江公園をぐるっと一周して、いろいろな外来植物を観察しました。２８名の参加者があり、観察できた植物は、外来種が２７種類、在来種が２４種類でした。残念ながら、以前駆除したミズヒマワリもちょこちょこと生えていました。当日は、関西大学ボランティアセンターの学生さんと、たかつき環境市民会議水環境保全グループの精鋭たちが駆除し、ゴミ袋5個分になりました。

津之江公園の池の北側にあるヤナギの植栽を行った場所では、ヤナギの生育の邪魔になるセイタカアワダチソウが繁茂しており、全員で駆除を行いました。駆除したセイタカアワダチソウはトラック半分になりました。一緒にゴミ拾いも行い、ゴミ袋１０個分ぐらいになりました。
ミズヒマワリの根絶は難しく、定期的なパトロールとこまめな駆除が欠かせません。津之江公園も含め、芥川流域におけるミズヒマワリ駆除に継続的に取り組む必要があります。

定例活動年間報告　　～川はここまで変わりました～

【階段下は急な流れ】

【人力によるみお筋づくり】

【川の営力でみお筋が完成しました】

一昨年より芥川倶楽部では定例活動として、あくあぴあ芥川前の芥川と周辺の竹林を活動拠点として、芥川に棲む動物、植物等の調査や、魚みちの遡上調査、みお筋づくり、竹林の整備などを行っています。
昨年度は、親水用に作られた階段下の急な流れを緩やかにして水辺に近づけられるように、みお筋（水の流れ）を中央にうつすこと、多様な生物生息環境を創出することを目的として、中洲でのみお筋づくりを行いました。
みお筋づくりは、人力できっかけづくりを行い、川が川をつくる自然の力を利用することを基本方針として実施しました。人と川がつくる「みお筋づくり」の結果は写真のとおり。大成功でした。

芥川倶楽部では、みなさまの参加をお待ちしています。
●活動日　：毎月　第3土曜日　午前10時～12時
●集合場所：あくあぴあ芥川の1階水上ステージ前